

三二講座

考えてみよう!
子どもの権利

202●年●月●日(●) ●●

〇 本日の内容

- 1 「(仮称)町田市子どもにやさしいまち条例」とは？
- 2 「(仮称)町田市子どもにやさしいまち条例」体系図
- 3 「子どもの権利」とは？
- 4 「大人の責務」とは？

1 「（仮称）町田市子どもにやさしいまち条例」とは？

【目的】

子どもが幸せに暮らすことができる
子どもにやさしいまち を実現すること

【ポイント】

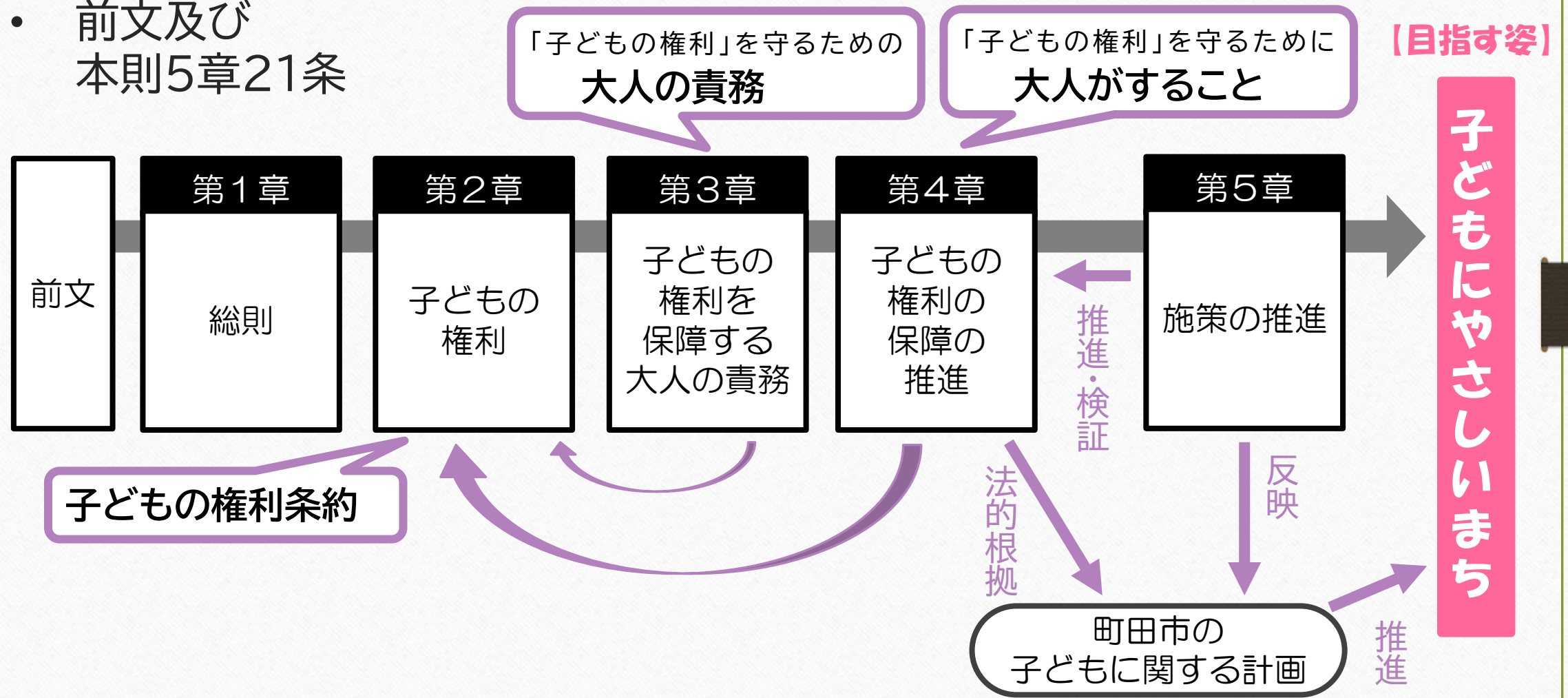
- ☆ 「子どもの権利」について、子どもにも大人にもわかるよう示す
- ☆ その権利を守るための大人の責務を明確にする

1 「（仮称）町田市子どもにやさしいまち条例」とは？

- 町田市では、1996年に子どもが中心となって起草した「**町田市子ども憲章**」を子どもの参画の原点とし、先駆的な取り組みを行ってきました。
- このことがユニセフ日本協会に評価され、全国で5自治体のみが承認を受けている「**子どもにやさしいまちづくり事業**」の実践自治体として活動を行っています。
- 保護者や地域住民など、様々な立場で子どもに関わる大人、一人ひとりが「子どもの権利」を理解して、互いに支え合うことで「**子どもにやさしいまち**」の実現を目指します。
- 本条例が、「**子どもが幸せになるために、私たち大人は何ができるのか**」について、それぞれの立場で考える契機になればという思いも込めています。

2 「（仮称）町田市子どもにやさしいまち条例」体系図

- 前文及び
本則5章21条



3 「子どもの権利」とは

- 18歳未満の児童(子ども)の基本的人権を国際的に保障するために、1989年の国連総会にて「**児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)**」が採択されました。
- 条約で定める権利を大きく分けると、「子どもの権利」は、大きく次の4つに分けられます。



3 「子どもの権利」とは

～子どもの権利条約～

生きる
権利

住む場所や食べ物があり、
医療を受けられるなど、
命が守られること

育つ
権利

勉強したり遊んだりして、
もって生まれた能力を
十分に伸ばしながら
成長できること

守られる
権利

紛争に巻きこまれず、
難民になったら保護され、
暴力や搾取、有害な労働
などから守られること

参加する
権利

自由に意見を表したり、
団体を作ったり
できること

3 「子どもの権利」とは

～町田市の子ども条例～

生きる
権利

安心して生きるために、
守られるべきこと

育つ
権利

健やかに、豊かに
成長するために、
守られるべきこと

守られる
権利

自分を守ったり、
守られたりするために、
守られるべきこと

参加する
権利

自分にかかわることについて
参加するために、
守られるべきこと

4 「大人の責務」とは

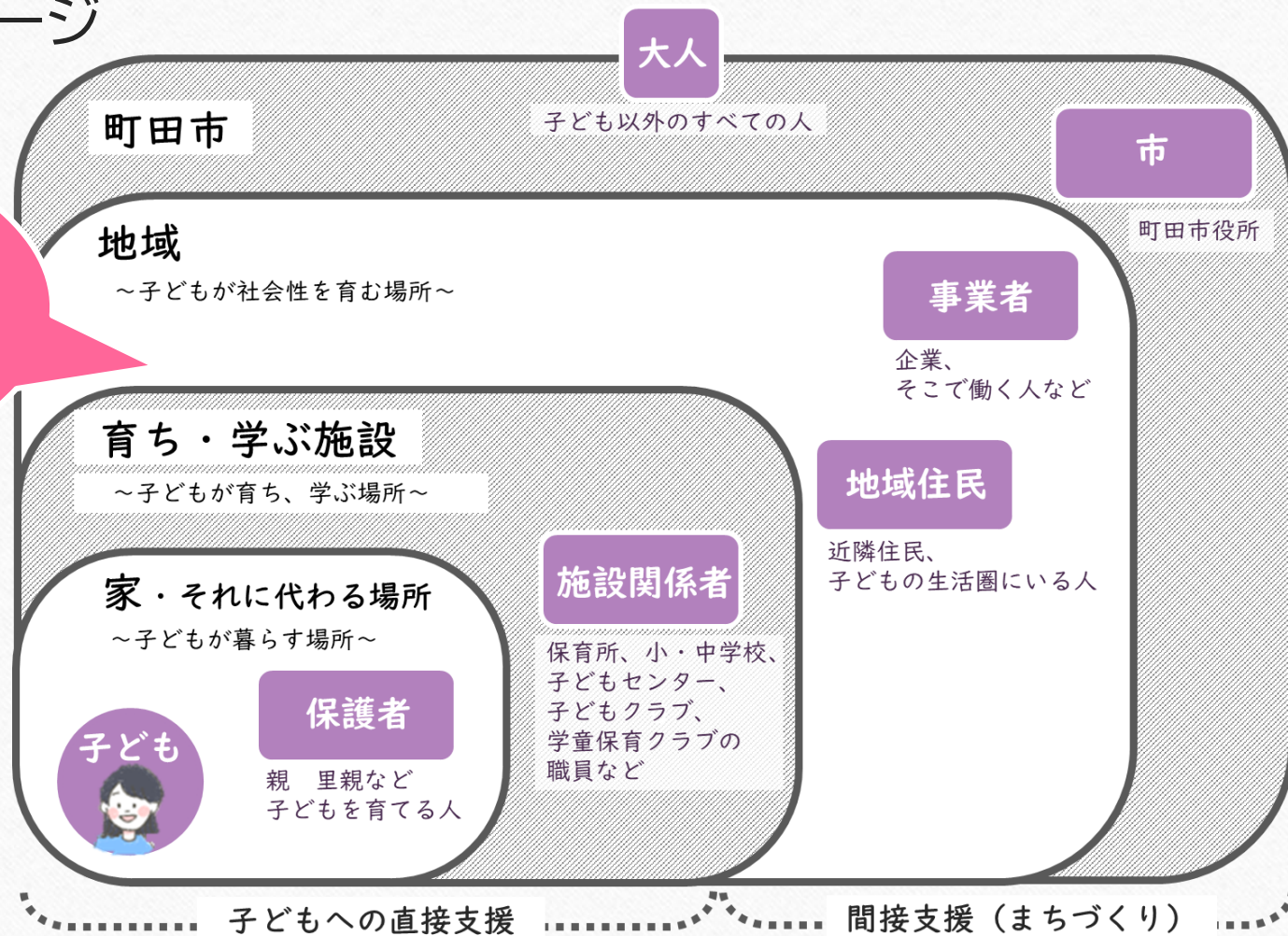
それぞれの立場で支えあいながら、
子どもの権利 を守っていくこと

子どもが権利の主体として、一人ひとりの違いが認められ、あらゆる差別や不利益を受けることなく、ひとしく健やかに成長できる社会の実現に向け、大人は子どもに寄り添い、子どもに向き合い、子どもを支えていかなければなりません。

4 「大人の責務」とは

子どもと大人の関わりのイメージ

（ミニ講座をする
対象の位置を示す）



三二講座

考えてみよう!
子どもの権利

本日はありがとうございました！